



# 学年のようす



それぞれの学年での子どもたちの活動を紹介します。

## 1年

来年度1年生になる近隣の幼稚園と保育園の園児との交流会を行います。当日は、歌のプレゼントやむかし遊びを園児に伝える活動を行う予定です。

1年生は、「新1年生に喜んでもらいたい!」「新1年生に早く会って遊びたいな。」と交流会を心待ちにしています。活動を通して、年下の子どもたちに対して温かい気持ちで接することができる姿を期待しています。



## 2年

国語の授業で、「お話の作者になろう」という学習に取り組んでいます。

主人公の名前や性格などを決めてから、どんなことが起こるのかを考え、話を書き始めました。「大きな鳥が出てくるんだけど、それは優しい鳥で、木の実を取ってくれるんだよ。」「大きな川を、二人の主人公が協力して渡るんだ。」など、自分の考えを伝え合いながら学習を進めています。完成した作品を、クラス内で読み合った後、家庭へ持ち帰る予定です。自分の力で書いた経験が、子どもたちの自信につながってほしいです。



## 3年

12月5日(火)に、青葉区社会福祉協議会、もえぎ野地域ケアプラザ、上谷本ボランティア会の方の協力を得て、高齢者疑似体験を行いました。高齢者疑似体験用具を装着して、歩行や段差の上り下りを体験しました。高齢者の日常生活を疑似的に体験することにより、加齢による身体的な変化を知り、高齢者の気持ちを学びました。

子どもたちからは、「関節が固定されてしまうととても歩きにくかったし、体がとても重くて早く歩けなかった。これからは電車やバスで立っている方がいたら席を譲ってあげたい。」という感想がありました。

今回の体験を通して社会には色々な人が共存しており、互いに支え合って生活していることを、今後の生活で意識していけたらと思います。



## 4年

12月4日(月)に青葉区社会福祉協議会の方のご協力を得て、聴覚障がいの方から日頃の生活の様子や困ったこと、手話の仕方を教えていただきました。

子どもたちからは、「電車に乗る時に困ったことはないのですか。」「スーパーで欲しいものがない時に、どうやって店員さんに聞くのですか。」「後ろから呼びかけられた時はどうやって気付くことができるのですか。」など、具体的な質問が多く出され、関心の高さがうかがえました。

体験会の最後には、みんなで「赤鼻のトナカイ」の曲を手話を使って歌いました。とても温かくて学び多いひとときを過ごすことができました。



## 5年

12月1日(金)に、もえぎ野小学校へスポーツ交流会に行ってきました。今回は、運動会で披露した徒手体操、クラス対抗長縄とび、もえぎ野小学校との合同チームでの玉入れを実施しました。

久しぶりの徒手体操でしたが、ブリッジから騎馬、扇、ウエーブまで華麗な技を披露し、観覧したもえぎ野小学校の子どもたちも感心していました。

また、クラス対抗の長縄跳びでは、教師と一緒に一生懸命長縄を回す姿や友達を励ましながら必死に跳ぶ子どもたちの様子が見られました。

玉入れでは、もえぎ野小学校の子どもたちと一緒に歓声を上げて楽しんでいました。

全体の話聞く姿に、5年生みんなの大変成長した姿を感じることができました。6年生に向け、心も体も成長している子どもたちです。



## 6年

1月18日(木)に書き初めを行いました。6年生が書いた言葉は「将来の夢」です。

はじめは大きな半紙を前に、文字の大きさ、バランスに苦戦していましたが、サポーターの方にアドバイスをもらい、一筆一筆丁寧に書いていました。活動中に聞こえるのはストープの音だけという静けさの中、集中して作品を仕上げた子どもたちの表情はとても満足した様子でした。

卒業まで、残りわずかとなりました。残された学校生活の中で、何をしたいか考えていきたいと思います。



## 6組

1月16日(火)に「ファンタジーキッズリゾート」へ遠足に行きました。電車やバスなどの乗り方やマナーなどを事前に学習し、乗り物の中で約束を守って過ごすことができました。

また、施設内でも規則を意識して、なかよく楽しく過ごすことができました。滑り台から元気よく滑り下りてくる子どもたち、トランポリンの上で高くジャンプする子、ボールプールの中で泳ぐ真似をする子など、学校とは違う顔を見ることができました。

中でも、上級生が下級生の世話をしたり、友達同士で遊具を譲り合ったりしている姿に成長を感じました。卒業を控えた6年生とたくさんの素敵な思い出ができ、有意義な一日となりました。

